

ナントええ古都なら——平城遷都1300年記念

奈良ゆかりの人々

南都銀行から発信する奈良ゆかりの人々と地域

日本の国の原点、そして日本人の心の故郷、奈良。

千年もの時を超え、歴史の舞台が私たちを迎えてくれます。

人の動くところ、歴史あり！。

その土地、その場所、その時代、

そこに生き、ゆかり深い人々を訪ねることで、

またひとつ、新しい歴史の姿が見えてきます。

平城遷都から1300年。

古代から現代まで歴史の舞台で活躍した人々を追いながら、

奈良の歴史を振り返ってみませんか。

1年1年重ねられた長い歳月のあいだには、

名も知らない、大勢の人々がいたことを心に思いながら！。

春日大社

およそ1300年前、奈良の都の守護と国民の繁栄を祈り、鹿島神宮の武甕槌命（たけみかづちのみこと）を平城京の東方、御蓋山（みかさやま）にお迎えしました。その後、今の地に社殿を造営し、香取神宮と枚岡神社の御祭神と共に祀りしたのが春日大社の始まりです。

